

広報 ふじかわ

11月号

昭和49年11月1日発行

No. 167

町のメモ

昭和49年10月1日現在

人口	16,210人
増減	先月より + 6人
男	7,995人
女	8,215人
世帯数	3,837世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画課



戦死者の霊を弔い

忠魂塔にお参りする遺族

明治の日清戦役から昭和の太平洋戦争までの間、多くの戦いで戦死された四百八人の英霊を弔う戦没者慰霊祭は、十月四日、新豊院で厳かに行なわれました。

当日は遺族、中川町長、議会議員、原県議、仏教会ら関係者約三百人が出席。国家に貢献し、戦場に散った戦死者の霊を弔う慰霊祭は式次第によって進められました。

町内の僧侶によるお経の中、遺族は帰らぬ人となった父や兄、あるいは夫や子の生前を思い出しながら、目にいっぱい涙をためてお焼香していました。

このあと、菊の花一輪を手に遺族は、日本一の富士山や町の中心街が一望できる見晴らしのよい、第一小学校うら山の忠魂塔にお参りして解散しました。

また、遺族会の総会が同日開かれ、生前同会発展につくした功績の労をねぎらって、故星崎秀治さん（小池）に今井藤雄会長から感謝状が贈られました。

庵原郡内にも県立高校を 促進協を結成して県へ要望

庵原郡下にも高校を、と庵原三町の当局、町議会、教育委員会は「庵原地区高等学校設置促進協議会」の発会式を九月四日、蒲原町文化センターで開き、役員を選出と同時に郡下の永年の懸案であった高校誘致に、三町が歩調を合せて本格的な誘致活動や研究活動を進め、県段階での高校再配置の検討の動きに合せて、県に働きかけに行くことを決めました。

庵原郡下には、現在高校が一枚もなく、十五年ぐらい前から高校を設置していただきたい、と県に陳情を繰り返してきました。そして、一時は設置の動きが盛り上ったものの用地難、財政的な問題から、結局は清水南高設置に落ち着いたいきさつがありました。

庵原郡下の高校進学率は、昨年度の実績によると、富士川町で九十九割（百八十八人中百八十七人）、蒲原町で九十八割（二百四十九人中二百四十五人）、由比町で九十五割（百八十五人中百七十六人）と県平均の九十割をはるかに上回っています。

PTAの意向調査、学区制に関する調査、高校の種別に対する研究活動を行なっています。現在、県下には百二十四の公私

立高校があり、平均人口二万五千人に一枚の割合になっています。庵原郡の場合四万七千人の人口です。高校の適正配置の意味から一枚は必要と考えられ、県段階での高校再配置を検討する、この時期に強力に郡下に高校設置するよう県に陳情、および要望して行く方針です。

給与所得控除額

所得税の改正で大幅引上げ

給与所得者の負担軽減を中心とした減税により、サラリーマンについて認められる給与所得控除が大幅に引上げられました。給与所得控除は従来、収入のいかんを問わず、まず一定額を控除し、その後で定率控除を適用する仕組みになっていましたが、この計算が複雑であり、基本的には定率控除一本に改められ、制度の簡明化が図られています。

水道料金は、奇数月（二ヵ月ごと）に水道メーターを検針して、使用水量に応じた納入のお知らせをしていますが、区長さん、組長さんが通知書を配布したり、集金したり、なかなか大変な仕事になっています。そこで、手続きが簡単な口座振込制度をご利用ください。口座振込制度とは、あなたが銀行や農協などの金融機関に預金口座のある場合、この金融機関があなにかわって水道料金を支払ってくれる自動支払い制度です。

どぶ掃除に

消火栓を使わないで

人口の増加と文化的な生活の発達で、水の使用量はふえつつけています。この大切な水を確保するためにいろいろ努力や、水道施設の改良に多額のお金を投資しています。最近、部落内でどぶ掃除など

7・7 災害復旧費など 3,990万円を補正

— 9月定例議会 —

町議会九月定例会は、九月二十六日、役場議場で開かれました。当日は、第二小、中学校の増築を含む教育施設の整備方針など当面の問題に対して、中川町長から一般行政の報告がありました。また、庵原郡下に県立高校を設置する運動についてなど三件の一般質問の答弁を皮切りに、北松野公民館改築に対する経費の補助など三件の請願、陳情をそれぞれの常任委員会に付託した後、四十九年度一般会計、第二回目の補正予算案など十件の議案を慎重に審議原案どおり可決し、同日閉会しました。

可決された町長提出議案は次のとおりです。四十九年度一般会計、第二回目の補正予算として、歳入歳出にそれぞれ三千九百九十万円を追加、これで総額九億三千六百万円になりました。補正予算のうちおもなものは、七月七日の集中豪雨がもたらした災害に対する、農林水産施設の復旧費に千九百九十七万円。土木災害復旧費に百六十八万円。災害見舞金、応急工事など救助費に二百四十四万円。町道富士川由比線改良追加、松永中沢線改良、稲荷橋橋梁かけ替え工事追加など道路橋梁費に二千五百二十万円。大塚窪公営住宅の排水工事など住宅建設費に千二百十六万円。消防車購入費に百五十九万円。由比町に建設されている青少年野外センターの負担金追加分として百三十五万円。要保護児童児童生徒の扶助費追加分として百万円計上しています。

発足し、療養費の自己負担分が軽減されています。これらに関する町国民健康保険税条例の一部が二件改正されました。四十八年度町水道事業会計決算は、事業収入四千七百七十六万一千七百六十円、事業支出三千三百九十一万七千七百六十四円、純利益千三百二十五万一千五百八十四円になりました。なお、純利益は四十九年度設備投資の自己資金になります。町消防団員の公務災害補償条例が改正され、補償基礎額の増額、および退職報償金の支払い範囲が拡大されました。また、消防賞しゅつ金も引上げられています。町道占用料金の徴収に関する町道占用条例の一部が改正されました。

委員として望月康江氏（舟山町）を任命するため、九月定例会にはかり同意を得ました。前委員花田一太郎氏は、昭和四十二年五月八日に就任以来、二期七年五ヵ月の間在職し、当時の教育委員として活躍されました。新委員望月康江氏は、大正四年三月二十二日、望月栄太郎氏の三男として岩淵千五百五番地出生静岡師範学校（現、静大教育学部）卒業後、今年の三月退職するまで庵原郡、清水市などの小・中学校の教諭、教頭、校長職を歴任し、約四十年間教育一筋にまい進してきました。現在は、静岡学園高校の講師として生徒の教育に当たっています。また、町の体育協会常任理事や体育指導員に任命されています、町民の体育振興に活動しています。

新教育委員に

望月康江氏就任



教育委員の花田一太郎氏が、九月三十日をもって任期満了になりましたので、中川国兵町長は後任

- 望月康江氏（59）の略歴
- 昭和10年3月 静岡師範第一小卒業
 - 10年4月 松野尋常高等小訓導
 - 19年4月 静岡師範付属小
 - 20年8月 松野国民学校
 - 23年4月 富士川小 教諭
 - 29年4月 清水江尻小
 - 33年4月 清水興津小
 - 37年4月 清水江尻小教頭
 - 41年4月 清水高部小校長
 - 44年4月 蒲原西小
 - 46年4月 蒲原中
 - 49年4月 静岡学園高講師

無断で消火栓を開けて放水しては、ただいま水道課の業務である水源管理職員を募集しています。普通自動車の免許を取得している五十五歳未満の妻帯者で、ご希望のかたは、詳しいことを水道課に問合せください。面接を行なって採用を決めます。仕事は、水道課に配属され水源管理係として配置されます。なお、採用後は東町の水源併用住宅に住んでいただくことになります。

年金相談所開設

11月18日午前10時～午後3時。蒲原町文化センター。厚生年金や国民年金など、各種の年金でお困りの方は、この機会をご利用ください。

富川線 事故防止を願い 死者慰霊塔を建立

県道富士川富沢線の交通事故撲滅を願って、蒲原地区交通安全協会富士川分会（長谷川修治分会長）は、秋の交通安全運動中の九月二十一日、南松野馬坂の県道わき空き地に「交通事故死者慰霊供養塔」を建立し、交通安全を呼びかけました。

九月三十日現在の蒲原署管内の交通事故死者は四人と、昨年より六人も減少。しかし、死者四人のうち、県道富士川富沢線で二人も死亡しています。

同県道は駐車禁止四十キロ速度制限を実施していますが、なかなか減少しなく、同署では運転者や歩行者が交通ルールを守って、交通安全に最善の注意をするよ



交通安全を願って南松野馬坂に「交通事故死者慰霊供養塔」を建立する

う指導を強化しています。供養塔は死者の霊を慰め、改めて事故防止を願ったもので安協委員、蒲原警察署、交通安全対策委員ら約四十人が参加して儀式を営みました。

安彦隆男さんら 10人も分会長表彰

十月十六日に老人福祉センターで行なわれた、富士川町秋の交通安全運動反省会で、交通安全協会蒲原地区支部富士川分会長（長谷川修治分会長）から、次の人たちが優良運転者として表彰されました

分会長優良運転者表彰
安彦隆男（旭町）新田美濃留（上町）深沢尊明（新町四十九）蓮池政春（大北町）藤森京一（相生町）工藤司郎（木島）加藤康子（川坂）志田つや子（幸町）木本米子（小池）角替うめ子（坂下）

旭町区長に 望月 保さん

旭町区長齊藤六郎氏（明治四十一年十二月五日生、六十五歳、自営業）は、九月十五日、急性心不全により逝去されました。

このため、同町の望月保氏が新区長として来年三月三十一日まで代行します。

- ①印鑑と加入している保険証を持参して、役場の福祉課で富士川町老人医療費受給者証と、老人医療費支給申請書を受け取る。
- ②病院にかかったときは、保険証受給者証、申請書を病院に提出し診断を受ける。
- ③治療が終わったら、医療費の個人負担分を支払って、申請書の領収欄に病院の証明を受けてください
- ④領収を受けた申請書と印鑑をお持ちになつて、役場の福祉課へおかけください。後日、その個人負担分のお金を支払います。

電話の配管も

お忘れなく

建物の新築、増改築を計画されている人は、電気、ガスと同じように電話の配管も考えてください。

もし、配管がないと新しい壁に穴をあけたり、床に電話線が露出して体裁が悪いばかりでなく、故障の原因にもなります。

また、鉄筋の建物では電話の取付けができなくなります。

詳しいことは電話局へご相談ください。

「たばこは町内でかきましょう」

所得制限でもれた老人に 町独自の老人医療費を支給

町では、所得制限により老人医療費支給制度の恩恵を受けていない、七十歳以上の老人の自己負担分を補助するため、町独自の老人医療費助成事業を十月一日から行なっています。これにより、七十歳以上（ねたぎりの場合六十五歳以上）の老人は、病気で医者にかかっても無料ということになり、安心して治療できることになりました。

国保 10月1日から 高額療養費制度が発足

高額療養費制度が発足

老人医療費支給制度は、昨年一月から実施され、七十歳以上のお年寄りや本人や家族の収入が一定額以下で、国民健康保険やその他の健康保険で診料を受けた場合、その治療費の自己負担分は国などが補助することになっています。そして、昨年十月からは六十五歳以上のねたぎりの老人も対象になりました。

しかし、四十八年において一定の所得以上の人（たとえば、五人家族で扶養義務者が六百十七万五千円以上。または、本人の所得が二百二十一万八千円以上）は、この

国民健康保険では、被保険者の医療費の自己負担額が月額三万円をこえる場合は、そのこえた全額を同保険が支払う、高額療養費制度を十月一日から発足。これにより重病、難病で多額の医療費がかかり、経済的困窮をきたしていた病人、あるいは家族は大いに救われることになりました。

従来、被保険者が医者にかかった場合、その医療費の三割を病院に支払っていました。つまり、どんな難病で医療費が高額になつて

も、その三割の自己負担分は被保険者が支払わなくてはなりません。しかし、これでは一般家庭で重病人もあれば家計は圧迫され、生活が脅やかされることになりました。十月一日から高額療養費制度を新設したものです。

高額療養費制度とは、一人の被保険者が一月医療機関で、一ヵ月（暦月）に支払った自己負担額、（医療費の三割）が三万円をこえ

た場合は、そのこえた金額について国民健康保険が、あとから払い戻しをするという制度で、つまりどんな重い病気にかかっても、月三万円まで自己負担すればよいことになるわけです。

受給の手続きは、町衛生課国民健康保険係にある高額療養費支給申請書に必要事項を記入して、関係に提出してください。なお、払い戻し療養費が支給される時期は、被保険者が診断を受けた月から三、四ヵ月先になります。

- ①水火災または、その他災害による傷病者がたとき。
 - ②交通事故、屋外作業事故等による傷病者がたとき。
 - ③公衆の出入する場所において傷病者がたとき。
 - ④行路病人があるとき。
 - ⑤犯罪による傷病者がたとき。
 - ⑥屋内で起きた事故等により、緊急に搬送する他の手段がない傷病者がたとき。
- 最近、交通事故をはじめ各種産業災害等の災害事故は、社会情勢を反映して年々激増しています。
- これらの災害事故による死亡を少しでも減少し、あるいは被害を最少限度に止めるため、救急隊によって応急処置を行ない医療機関へ緊急に搬送しています。
- 今年になって、救急発生状況の内訳をみると、全体の五十七・九割が在宅病者となっているなかには病者に対する初歩的な知識に欠け、いたずらにあわてふためいて一九番したり、救急車をタクシー代りに使っているのではないかと思われるよう

なケースもあつて、救急業務に支障をきたす大きな原因のひとつになつています。

先にも書いたように「救急業務は、非常災害、災害事故、交通事故等による傷病者で緊急に医療機関に搬送する必要があるものを、救急隊によって病院等に搬送することをいうのであって、単なる「救護活動」ではないので、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

（庵原地区消防本部）

11月からUHFで NHK・SBSテレビ放送

NHKと静岡放送(SBS)では、富士宮市および富士、富士川町の一部で他局との混信のため、すだれ状の横縞が入り見にくい状態を改善するため、大淵にあります富士宮テレビ中継局のNHK総合4、教育8、SBS6チャンネルのVHF電波から、NHK総合52、教育54、SBS41チャンネルのUHF電波に変更するため、四月からVHFとUHFの両チャンネルで放送しておりますが、十月末でVHFチャンネルによる放送は停波し、十一月からUHFチャンネルのみで放送します。

なお、テレビ静岡(SUT)は39チャンネルで従来通りです。Uチャンネルの受信のしかたは次のようになります。

富士宮テレビ中継局を受信されている方は、十一月一日からUチャンネルだけとなります。

39チャンネル(SUT)を受信されているお宅では、UHFダイヤルで41、52、54チャンネルに調節すれば受信できます。

Uチャンネルの調整は、VHFチャンネルにくらべてなじみにくいようですが、調節に慣れてください。

秋の火災予防運動

11月26日～12月2日

「生活の一部にしよう火の点検」十一月二十六日から十二月二日まで、全国いつせいの秋の火災予防運動が行なわれます。

これから年末にかけて空気が乾燥し、また、暖房器具など火を使用する機会も多くなり、いわゆる火災の多発するシーズンに入ります。

ひとりひとりが火の恐ろしさを再認識して火災を出さないよう。また、火災による人命損傷事故を絶対に起さないよう、十分火の取り扱いに注意してください。

ゴミを水路に捨てない 下流の人が迷惑します

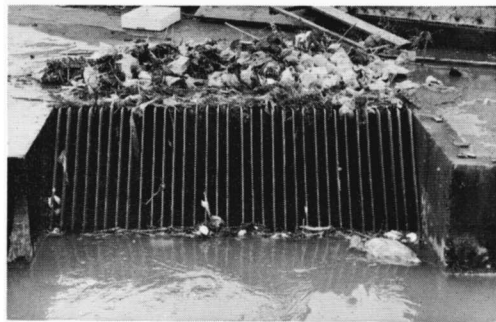
昔は小さなほりや小河川に、小魚、各種の微生物が生息するきれいな水が流れていました。

しかし、近頃は工場排水、あるいは家庭からの汚れた水が流れ、そのうえ心もとない人たちが捨てた空カン、ビニールなど種々様々の汚物でほりや川がいっぱいになっています。

岩淵の上流から流れてくる水も時間とともに段々汚れ、中之郷東町・日の出町付近の下流に到達するころには、これが水路かと思われるほど水は汚れ、ゴミはたまっていきます。

このため、下流の農業を営む人たちがや住民が何度となく清掃しても、一向にきれいにならず大変迷惑しています。

各家庭がこのようなことを自覚して、ゴミは町の指定するゴミ収集日に出し、



空カンやビニールなどのゴミでいっぱいになる日の出町付近の水路

- 1 家庭における安全点検
 - 2 老人、幼児、病人の就寝場所の点検
 - 3 タバコの投げ捨て、寝タバコの防止
 - 4 消火用具の準備
- みなさん「火の用心」をお願いします。(庵原地区消防本部、消防団)

東町・日の出町が 2連勝 町民体育大会

第十八回町民体育大会は、十月六日の日曜日、第一中学校グラウンドで開催されました。

絶好の秋晴れの中、グラウンドの周りいっぱい陣取った各区のテントに、約五千人の町民が集まり競技に出場したり、応援団を練り

木島にちびっ子グラウンドができたのは、昨年広報ふじかわで詳解しましたが、今年の夏にはこのグラウンドを各区の子どもが多勢利用していました。

現在、町内には広い空地もなく、小中学校のグラウンドを使用したくても気軽に使えるところがないという昨今。木島区の人たちは「もつとこの広場を整備

通信員たより

そして、ちびっ子の遊び場、あるいは区民のいこいの場を利用して「さる場所にした」と話しています。

断っていた区民運動会も復活して、盛大にやりたいという気運

きつづいて東町、日の出町チームが獲得。二位に南松野、三位に宮町チームがそれぞれ入賞しました

なお、応援賞は北松野チームに贈られました。

各種目の優勝チーム(者)

- ◇年齢別リレー 南松野
- ◇六三三リレー 南松野
- ◇婦人順送球 東町、日の出町
- ◇つなひき 南松野
- ◇各種団体対抗リレー 教員団

も高まっています。

しかし、グラウンドの状態はまだ不備な点が多く、区の人たちはデポポコを直したり、除草したり。子どもたちもひまわりなどの花や木を植えたりして一生懸命です。将来は、水道施設も配備された、いこいの場にと整備にはげんでいます。

(木島 芦川和美通信員)

事件の不满、不審は 検察審査会へ申立て

あなたや、その周囲の人で詐欺、暴行、交通事故などの被害を受けて、犯人を処罰してほしいと警察や検察庁に訴えたが、その結果、裁判にまわされず不起訴処分になってしまったり、世間をさわがせた選挙違反事件、贈収賄事件などを起しても裁判にかけられずに終わってしまった、不満や下審を抱いている人はありませんか。このようなときは「検察審査会」へご相談ください。

検察審査会とは
裁判所内にあつて、民間から選ばれた十一人の審査員が申立や職権により、その不起訴処分となつた事件について記録を調べたり、証人と呼んで調べたり場合によっては実地見分などもして審査します。

検察審査会の所在地は

全国のおもな裁判所内にあり県下では静岡、沼津、浜松、下田の裁判所内にあります。申立費用は一切無料です。

詳しいことは、遠慮なく検察審査会事務局へ問合せください。

静岡検察審査会事務局
電話〇五四二―五二一六一



町民大会「一致協力競技」ではりきる選手

